

カミナリイカ

先日、主催事業「親子で釣りに挑戦」を開催しました。15名の参加者の皆様と柄杓田漁港でサビキ釣りにチャレンジ！当日、柄杓田漁港では今まで殆ど見かけることがなかったサバゴ(サバの幼魚)がたくさん回遊しており入れ食い状態。サバゴだけでなく、カタクチイワシやコノシロ、サッパと様々な魚を次々と釣り上げていました。そして、釣り終盤にはボラがヒット！一度目、二度目と針が切れ逃がしてしまいましたが、三度目の正直で46cmのボラを釣り上げました。釣り終了時には、ずっしりとクーラーボックスが重くなり参加者の皆様も大満足の釣果となりました。さて、今回は釣り上げた魚ではなく、釣りの最中に優雅に泳いでいたイカの紹介します。この日はイカの姿をよく見かけました。



参加者の方もイカを釣り上げようとエギを投げていましたが反応なし…。主催事業が終了し仕事を終え、帰る前に柄杓田漁港へエギを投げに行ってみました。すると、昼間とは違いエギに反応が！合わせるとずっしりと重く、そして強い引きも！上がってきたのは昼間見かけた



イカ『カミナリイカ』でした。カミナリイカの由来は気象現象の雷からきています。「雷が多く鳴る場所でたくさん漁獲される」「雷の鳴る頃に匂を迎える」など諸説は様々ありますが…。カミナリイカと聞いてピンと来ない方も多いのではないのでしょうか？カミナリイカは別名「モンゴウイカ」と呼ばれています。別名の方が一般的に浸透しているため、カミナリイカと呼ばれることはあまりありません。そんなカミナリイカとよく似たイカがいます。それは…コウイカ。見分ける POINT は胴体の模様です。カミナリイカは唇・コーヒー豆のような模様があるのが特徴です。産卵のため浅場にやって来ている時期でイカ釣りのBESTシーズンを迎えています。みなさんもサビキ釣り、イカ釣り(エギング)に挑戦してみてくださいはいかがでしょうか！

